

ベネズエラ共和国陸域における石油探鉱・開発事業への参加について

平成 14 年 10 月 28 日

帝国石油株式会社

帝国石油株式会社(本社 東京都渋谷区 社長 磯野 啓)は、平成 14 年 10 月 25 日(金)、アルゼンチンの PEREZ COMPANC 社との間に同社が 100%の権益を保有するベネズエラ西部 San Carlos 鉱区(面積: 506km²)及び Tinaco 鉱区(同: 962km²)のガスの探鉱・開発事業に参加すべく、同社から両鉱区権益のそれぞれ 50%を一括して取得する権益譲渡契約書に調印致しました。当該契約は、同国関係当局の承認を得た後、正式に発効する予定であります。当社権益取得後の権益構成は、PEREZ COMPANC 社(同社のベネズエラ子会社が権益保有者かつオペレーター) 50%、弊社 50%となります。

両鉱区はベネズエラ共和国西部で隣接する 2 鉱区で、San Carlos 鉱区ではこれまでに掘削された試掘井で天然ガスが確認されており、今般新たに 4 年間のガス探鉱ライセンスが付与される予定です。一方、Tinaco 鉱区は 2001 年 8 月から 4 年間のガス探鉱ライセンスにより、年末から地震探査を実施し、その結果により、2004 年に試掘井 1 坑の掘削を計画しております。

当社は、今後、当社全額出資による新会社 TEIKOKU OIL SCT EXPLORATION B. V. (オランダ法人)を設立の上、本事業を推進していく予定であります。

なお、ベネズエラは、現在当社が重点地域として取組んでいる地域内にあり、また、両鉱区は、当社関連会社のベネズエラ石油(株)およびサンビ・グエレ石油(株)がそれぞれ 1993 年、1994 年より油田再生化事業を推進しているイースト・グアリコ鉱区(5,633km²)およびサンビ・グエレ鉱区(1,386km²)の西方に位置していることから、事業知見の継続性や他事業との相乗効果が期待されます。

以上

